

# 一般社団法人鹿角青年会議所

## 2019年度 理事長所信

### スローガン

#### 向上心

～ 今日も<sup>まえ</sup>未来に向かって歩き出せ ～

### 基本方針

1. 次世代へ繋ぐ創立35周年記念活動の実施
2. 会員拡大及び会員資質向上
3. 青少年の育成事業の継続
4. 希望に溢れる地域力向上を目指す事業の実施

#### 「はじめに」

青年会議所はいつの時代も明るい豊かな社会の実現を目指し運動を展開しています。私は、運動を継続して明るい未来へと進むためには情報を取り入れること、そしてそれを仲間とともに学び共有し質を高めること、さらにそれを多くの人たちに発信し共感してもらい地域全体を巻き込んで行動をおこしていくことが必要であると考えます。しかし現代において有益な情報だけが存在しているわけではなく、嘘や間違った無益な情報もたくさん存在しています。そのため、自分自身にとって有益であるかどうかを見極める力が必要不可欠です。鹿角青年会議所に入会して4年が経ち、4年前にはなかった見極める力が養われてきていると感じています。それは自分では想像のできないたくさんの個性あふれる人たちとふれあうことができていること、そして同じ世代の仲間と時間を共有していることで日々成長できているからだと思います。その中で、今だからこそ得られる情報を自分の目で見極め判断し、それを取り入れて進化させ発信していくことで、自分、家族、会社、仲間、地域が成長し、それが明るい地域社会を作り上げ、輝かしい未来へとつながっていきます。

#### 「35周年記念活動」

1984年に創立された鹿角青年会議所は今年度で創立35周年を迎えます。私たちは、長きにわたって地域を盛り上げ笑顔溢れるまちを作ってきた先輩諸賢に尊敬と感謝の心をもつとともに、受け継がれてきた熱き想いを絶やさず、未来を切り拓いていくために常に挑戦し続け、私たちが大きな声を上げて新たな行動を起こしていかなければいけません。J C

活動は単年度制であるため、その年によって掲げるスローガンが変わり、目標や手法が変化します。ただ、明るい豊かな社会を築き上げる想いは昔も今もさらには未来においても常に変わらないものです。私たちはこれから先40年、50年と次の世代へ青年としての熱き想いを繋いでいくためにも35周年を節目とし、メンバー一人ひとりが笑顔で溢れる未来をまっすぐ見据えて活動を行ってまいります。

#### 「会員拡大及び会員資質向上」

近年、会員数が30名を割り、たくさんの熱き想いをもった若者が多くいた時代から3分の1にまで会員が減少しています。この会員減少を抑えなければ鹿角青年会議所の存続の危機が遠くない未来にやってきます。鹿角青年会議所がなくなるということは、自分自身が成長する場所、そして自分を取り巻く人たちが成長する場所が減ってしまうことになり、地域が衰退していく一つの要因となります。青年会議所に所属できるのは40歳までです。新しい風を取り込み成長できる場所をなくさないためにも会員拡大に取り組みます。そして自分自身だけでなく地域の発展のためにも修練、奉仕、友情を忘れることなく己の資質向上を目指し、鹿角青年会議所が地域になくってはならない存在であり続けます。

#### 「青少年の育成事業」

自分たちが育った子供の頃とは違い、少子化や生活環境が変化している中で人と人とのコミュニケーションが少なくなっていると感じます。子供の成長には人とふれあう時間が必要であり、想像力豊かな心を育てていく時間や場所を増やしていくことが必要です。子供の時、心に残る素晴らしい体験をすることは、大人へと成長したときに大きな財産となります。そしてこのかけがえのない財産を残すことが、地域にとって新たな発展をしていくチャンスになります。これから地域全体で発展していくためにも健全な育成ができる事業を展開していき、子供たちが元気な笑顔で成長できる活動を継続して行ってまいります。

#### 「地域力向上を目指す」

少子化、都市部への若者流出など、様々な要因があり鹿角市でも人口減少が起こっていることで、若い力が少しずつ失われています。その中でも現在長寿大国となっている日本では高齢であっても元気溢れるまちを目指し活動をしています。しかし、元気があるまちづくりをこれから先も続けていくためには若い力が今以上に必要になってきます。その中で私は地域力向上を目指していくことで若い力を増大させ、元気があるまちづくりができると考えています。私が考える地域力とは、まちが活気に溢れていることです。まちが活気に溢れているということは住み暮らす人たちが元気であるということです。この元気とは何か。それは笑顔が溢れ意欲的に物事を考えたり行動できることだと考えます。まずは鹿角青年会議所が地域の人たちとともに笑顔になっていくために多くの若い世代とコミュニケーションを取っていきます。そして、老若男女問わず市民や行政を巻き込んで活動していくことで、

活気溢れるまちをつくり、地域力向上を目指していきます。

「結びに」

自分自身には今どんな壁が目の前にありますか。壁を乗り越えた時、そこには新しい景色が広がっています。そして後ろには乗り越えた時にできた自分を支えてくれる壁があります。人とは強く逞しくなっていくことができる生き物です。それは現在の状態に満足することなくより良いもの、そしてより高いものを目指して努力していく心があるからだと思います。その「向上心」をもって、一日一日を積み重ね歩いていくことが明るい豊かな地域社会の実現に近づいていきます。2019年度、臆することなく向上心をもって未来に向かって歩いていきましょう。

一般社団法人鹿角青年会議所  
2019年度 理事長 森谷 敦史